

文化
Himeji Cultural Information
情報

姫路

1
2026

人形浄瑠璃
文楽





PROFILE 吉田玉勢

1973年、3人兄弟の末っ子として生まれる。父の趣味が狂言、母が地唄三味線をたしなんでいた影響で、小学2年生から三味線を習っていた。中学卒業後の1988年5月、国立劇場文楽第13期研修生となり、1990年4月に初代吉田玉男氏に入門、吉田玉勢と名のる。同年、国立文楽劇場で初舞台。2008年、第36回文楽協会賞。2013年、大阪文化祭賞 グランプリ。2014年・2022年、第33回・第41回国立劇場文楽賞 奨励賞、2025年、令和6年度(第47回)姫路市芸術文化賞 芸術文化奨励賞。

人形浄瑠璃

文楽

人形遣い・吉田玉勢さんインタビュー

日本を代表する伝統芸能の一つで、ユネスコの無形文化遺産にも登録されている

「人形浄瑠璃 文楽」の本公演と鑑賞教室が、3月にアクリエひめじで開催されます。

出演者の一人で姫路市出身の吉田玉勢^{たませ}さんに、「文楽」との出会いや魅力、演目のみどころについて聞きました。

文楽との出会いは。

中学3年生になった頃、謡曲が趣味だった父と、大阪の文楽劇場で初めて鑑賞しました。舞台では「おじいさん」が若い主役の人形を遣っていて、その人形がなんの違和感もなく生きているように存在し、観客からたくさんの拍手を浴びていました。まるでパラレルワールドに引き込まれたような、不思議な感覚でした。

当時、人と接することが苦手で、将来が見えず悶々としていた頃でした。研修制度があるのを知り、中学を卒業後、自分を変えるために、その「おじいさん」(初代吉田玉男)に入門させていただきました。

文楽は、人形遣いを含めた「三業^{さんぎょう}」の総合芸術と言われます。

「三業^{たゆう}」とは「太夫」「三味線」「人形」です。登場人物のセリフや感情、情景描写を語りで表現する太夫、低音の効いた太棹三味線の音色で

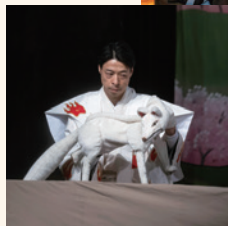
情景や心情を表現し、太夫を支える三味線、そして、舞台上で生きているように動き表現する人形。この3つが一つとなり、物語の世界を表現します。

うどんで例えると、出汁が太夫、麺が三味線、具が人形。彩りを加え、視覚的に世界観を広げるのが、わたしが勤めさせていただく人形の役割だと思います。

人形遣いの修行は、どのようなものですか。

一体の人形を、3人の人形遣いが操っています。人形の両足を動かす「足遣い」から修行が始まりますが、稽古以外にも師匠の身の回りのお世話、楽屋の掃除や準備、舞台では上手下手の幕開け、小道具の受け渡しなどやるべきことがたくさんあります。

足遣い、左手を動かす「左遣い」をそれぞれ10～15年。主役級の人形を遣う「主遣い^{おもづか}」(首と右手を動かす人^{かしら})を目指した修行は、子役や端役の人形を遣いながら並行して行います。



ベトナムハノイ公演では「義経千本桜 道行初音旅」を上演(写真協力:国際交流基金)。大いに盛り上がりました

同公演で狐忠信を遣う吉田玉勢さん



修行期間がとても長いんですね。

足遣いや左遣いは、主遣いの指示通りに動く必要がありますが、舞台上では無言です。そのために「頭」という文楽独自のサインが統一されています。また、主遣いの呼吸や間を瞬時に読み取る必要もあります。「頭」を見て反応できるテクニックがないと、サインを出す主遣いにはなれません。「頭」は主遣いの癖などによって微妙に違ったりしますので、覚えるのに何年ものかかり、それが修行期間が長い理由の一つです。

人形に感情や呼吸、魂を入れ、物語や曲に合わせて動かす。あくまで人形遣いですので、わたしは消えて、お客さまの前には生きている人形だけが存在していることが理想であり、目指すところです。

ここ数年は、海外でも公演されているそうですね。

2023年6月にルーマニアのシビウ国際演劇祭で文楽ミニ公演、ロンドン大学東洋アフリカ学院(SOAS)ワークショップ、25年7月にバックパッカー文楽ベトナムハノイ公演、翌8月には三谷文楽「人形ざらい」にも参加させていただきました。

国立劇場が老朽化により2023年10月に閉場し、現在、東京公演は首都圏の劇場で公演しています。大阪、地方巡業公演も含め、お越しくださる皆さまのおかげで定期的に公演を行うことができています。本当に感謝しております。

今回の演目「曾根崎心中」について教えてください。

近松門左衛門の作品で、元禄16年(1703)に起きた、天満屋の遊女はつと醤油商の手代徳兵衛が曾根崎村(つめのんじん)の森で情死した事件を題材にしています。人形浄瑠璃として「竹本座」の竹本義太夫とタッグを組み、同年のうちに上演されました。竹本座が多額の借金を返せたくらい大ヒットし歌舞伎にもなりましたが、人々に与えた影響が強すぎて若者の心の中が増え、幕府から禁止令が出て公演が途絶えてしまいました。

復活したのは時代が大きく変わった昭和28年。まず歌舞伎が上演され、文楽はその2年後の昭和30年に復活しました。その公演でお初を遣っていたのが二代目吉田栄三(えいざ)で当時70歳。徳兵衛を遣っていたのは私の師匠、初代吉田玉男で、当時36歳。大抜擢です。わたしが36歳の時は、バリバリの足遣いでした。えらい違いです……。

玉勢さんが遣う役柄は。

下女お玉です。10分ぐらいの出番です。「天満屋の段」の後半、お玉はその日最後の仕事の戸締まりをして、見張り番も兼ねて広い部屋で一人で寝ます。朝から晩まで仕事をしてクタクタです。そこでハプニングが起こります。お玉は気づいていないのですが、お初と徳兵衛を逃がすきっかけを作ってしまうんですね。二人にしか見えない、美しい死への境界となる門口です。あとで亭主にこっぴどく叱られて「すんまへん、すんまへん」と泣いていたかもしれません。

「この世の名残、夜も名残……」。死への道行となる「天神森の段」は、私感ですが、曲も振付も素晴らしいです！ 全部で2時間もない作品ですので、観やすいと思います。

人形浄瑠璃 文楽

3月22日(日) アクリエひめじ 中ホール

[公演] 14:00~

演目／曾根崎心中 生玉社前の段
天満屋の段
天神森の段 澤村龍之介=振付
一般5,000円、高校生以下2,500円(全席指定)

[鑑賞教室] 11:30~

内容／文楽三業(太夫・三味線・人形)の解説
実演「伊達娘恋緋鹿子 火の見櫓の段」
一般1,000円、高校生以下500円(全席指定)

☎ 姫路キャスパホール 079-284-5806



「曾根崎心中」は大ヒット映画 「国宝」にも登場しました。

徳兵衛がお初の足をさわるシーンがありました(「天満屋の段」)。文楽では通常、女形は足を付けず、着物の裾ふきを二つに折った所を指先で挟み、それを捌くことによって足があるように見せるのですが、このシーンの場合だけ、特別に拵えた女形用の小さな足を吊って表現します。どのように表現されているか、ぜひご覧ください！

鑑賞教室では「伊達娘恋緋鹿子 火の見櫓の段」の 実演があります。

恋人に会いたい一心で放火事件を起こし、火刑に処された「八百屋お七」の物語を、放火ではなく火の見櫓に登り半鐘を打つことに改作しています。15分ほどですが、人形がはしごを登る技巧的な型もありますので、お楽しみいただけたと思います。

また、三業の解説もごさいます。今回の人形解説は、弟弟子の吉田玉翔(たま)さんと、二代目の一番弟子である玉路(たまち)くんが担当してくれます。文楽がさらに身近に感じていただけたと思います。

昨年3月には、令和6年度 姫路市芸術文化賞を 受賞されました。

芸術文化奨励賞を頂き、誠に光栄に思います。舞台上で顔を出すのは主遣いだけ。名前を覚えてくださるまでに長い修行、長い時間がかかる人形遣いのわたしに賞を贈ってくださった皆さまに、改めて感謝申し上げます。



姫路市芸術文化賞授賞式
(2024年3月)

地元・姫路での公演は、どんな気持ちですか。

もともと緊張しいのが、さらに緊張します(汗)。姫路の人間とは言えないほど長い時間離れていましたのでおこがましい限りですが、人形を遣うことで、少しでも故郷にお返しできればと思います。

故郷といえば、昨年は35年ぶりに灘のけんか祭りに見に帰りました。太鼓の音や「ヨーイヤサー！」を聞くと、35年ぶりが吹飛び、胸が熱くなりました。松原八幡神社、御旅山での屋台の練り合わせは最高でした！

最後に、お客さまへのメッセージを。

文楽は、庶民の間で生まれ、庶民に育てていただいた伝統芸能です。現代とは違う言葉や時代背景、モラルなどありますが、人間の根源的な感情や思考は同じだと思います。日本の古典芸能は難しそう……という先入観にとらわれず、楽しんでご覧いただけたらうれしいです。

Event & Topics 2026 1

アクリエひめじ

大ホール

丘みどり コンサート2026

～演魅Vol.6～

1月17日(土) 14:00～

S席7,000円、A席5,000円

問 グッドラック・プロモーション
0570-030-707

フォレスト 新春コンサート in 姫路

1月20日(火) 13:30～

S席6,600円、A席4,400円

問 グッドラック・プロモーション
0570-030-707

マカロニえんぴつ

マカロックツアー vol.21

～心を覗いてシラけるより、
ことばのシワだけ増やしてゆけ篇～

1月23日(金) 19:00～

7,500円

問 清水音楽 06-6357-3666

池辺晋一郎Presents

シンフォニック・ミュージカル



池辺晋一郎
©東京オペラシティ文化財団
撮影:武藤章



松井慶太
©Ayane Shindo



石丸幹二



新妻聖子
©Kazutaka Nakamura

日本を代表するミュージカル俳優の石丸幹二さん、新妻聖子さんをゲストに迎え、松井慶太さんの指揮、「Legendary Orchestra in Japan」の演奏で『美女と野獣』や『ジキル&ハイド』など珠玉のミュージカルナンバーをお届けします。

1月31日(土) 15:00～

SS席 完売、S席7,000円、A席5,000円、
B席4,000円(全席指定)

問 パルナソスホール 079-297-1141

小学生から18歳までの お子さまをご招待!



この催しは、文化庁の文化芸術活動支援事業(令和7年度 劇場・音楽堂等における子供舞台芸術鑑賞体験支援事業)の対象公演です。公演当日に18歳以下(2007年4月2日以降生まれ)の小学生～高校生の皆さまをご招待いたします。

お申し込みはこちらから▶



中ホール

令和7年度アクリエひめじ文化講座 特別編 未来の聴衆育成プロジェクト vol.8

新春の寿ぎ・アクリエひめじ

ニューイヤーコンサート2026

文化講座「能楽ちよいかじりⅢ」「音楽の愉しみⅣ」「落語の愉しみ」「邦楽に親しむ」のコラボレーション企画です。講師の江崎欽次朗さん、山中歩夢さん、月亭秀都さん、新福かなさんのほか、上田敦史さん(小鼓)、森山泰幸さん(大鼓)、松崎晟山さん(尺八)がゲスト出演します。

1月4日(日) 14:00～

一般1,000円、高校生以下無料(要チケット)

※5歳から入場できます。

問 アクリエひめじ 079-263-8082

大阪フィルハーモニー交響楽団メンバーによる 親子で楽しむ わくわくクラシック!



尾張拓登



久貝ひかり



北川もみじ



近藤浩志



吉田周平

すべて
©飯島隆

0歳から入場できるクラシックコンサートです。エルガーの「愛のあいさつ」や三木たかしの「アンパンマンのマーチ」など、クラシックの名曲や聴きなじみのある作品をお届けします。終演後には、来場者を対象とした楽器体験を開催します。

1月17日(土) 13:30～

楽器体験 14:30～15:30

一般1,500円、小学生以下1,000円(全席指定)

※残席わずか

※0～2歳児の膝上鑑賞は無料です。

※年齢にかかわらず、座席を利用される場合は
チケットが必要です。

問 パルナソスホール 079-297-1141

第十八回 桂米團治独演会

桂米團治、浅野美希、桂團治郎、桂二豆の出演です。「一文笛」「崇徳院」他を披露します。

1月18日(日) 13:30～

一般4,500円、高校生以下2,500円

問 姫路労音 079-290-5522

第12回 ステラ・ケ・プリラ 一輝く星一

若手演奏家を支援するチャリティーコンサート。合唱、ヴァイオリン、ピアノ、津軽三味線、マリンバ、声楽の演奏家が出演します。

1月24日(土) 13:30～

一般1,000円、中学生以下無料

問 国際ゾンタ SEN姫路ゾンタクラブ
080-5172-0693(井野)

Blue God Rhapsody

ピアノ&エレクトーンコンサート

青柳 晋さん(ピアノ)、神田 将さん(エレクトーン)の出演で、チャイコフスキー:ピアノ協奏曲第1番 変ロ長調 作品23、ラフマニノフ:パガニーニの主題による狂詩曲 作品43 他を演奏します。

2月1日(日) 14:00～

一般4,000円、高校生以下3,000円

(当日各500円増)

問 文化堂 0120-930-430

小ホール

小粋な歌姫たち ～クラシックとポップス 一度で二度おいしい～

二人の「歌姫」、松本温子さん、うしをみやこさんの出演です。

1月24日(土) 13:30～

3,500円

問 松本 090-8210-7243

第75回 プロムナード・コンサート

青木智子さん(アルトリコーダー・ソプラノ)、田村真惟さん(箏)、松尾益民さん、田村明子さん、井上智津子さん(いずれもピアノ)の出演で、ポーランド民謡「踊ろう楽しいポーレチケ」、ベリー・パンパン「白いブランコ」や、クラシックの名曲を解説トーク付きでお届けします。

1月25日(日) 10:00～11:30 無料

問 ラ・プロムナード・ミュージカル
080-9279-5133(松尾)

文化講座

問 アクリエひめじ 079-263-8082

日本近世絵画の読み方Ⅲ

「第二期洋風画」

1月8日(土) 11:00～12:00

会議室403 500円 定員40名

講師/橋本寛子(神戸大学文学部非常勤講師)

城郭と歴史文化に親しむための

入門講座

1月8日(土) 14:00～15:30

会議室403 500円 定員40名

講師/堀田浩之(元県立歴史博物館職員)

舞台芸術鑑賞講座 vol.7

坂 茉莉江 ヴァイオリンの彩り

ベートーヴェンからラヴェルへ

響きの変遷

ベートーヴェン:ヴァイオリンソナタ 第1番 作品12-1、ラヴェル:ヴァイオリンソナタ ト長調 他を演奏します。ピアノは山中歩夢さんです。

1月10日(日) 14:00～

小ホール 1,000円 定員150名

落語の愉しみ

1月14日(土) 14:00～15:00

スタジオ1 500円 定員80名

講師/月亭秀都(落語家)

「うた」の歴史と楽しみ方Ⅲ

1月17日 10:30～12:00

小ホール 500円 定員80名

講師／林 裕美子(声楽家)

音楽の楽しみⅣ

1月17日 13:30～14:30

小ホール 500円 定員80名

講師／山中歩夢(元東京藝術大学非常勤講師)

邦楽に親しも

1月20日 11:00～12:00

小ホール 500円 定員80名

講師／新福かな(箏曲家)

パルナソスホール

パルナソス 朝のハーモニー No.256

サクソフォンコンサート

～名曲の新しい響き～

廣畑きらり
©Ayane Shindo

沖永紗織

2024年の第27回姫路パルナソス音楽コンクール管楽器部門で第1位／国際ソロプチミスト姫路賞を受賞した、姫路市出身のサクソフォン奏者・廣畑きらりさんの出演です。曲目はカッチーニ(朝川朋之 編):アヴェ・マリア、シューマン:3つのロマンス、リムスキー=コルサコフ(網守将平編):熊蜂の飛行 他。

1月10日 10:30～11:30

500円(全席指定)※3歳から入場できます。

問 パルナソスホール 079-297-1141

第31回 2026ニュー・イヤー・コンサート

1月11日 13:00～15:30 無料

問 姫路市学校指導課 079-221-2767

オルガンシリーズ Vol.22

濱野芳純オルガンリサイタル

ーオルガン音楽の語法ー



濱野芳純

リ्यूとびあ 新潟市芸術文化会館の専属オルガニストを務める濱野芳純さんが、J.S.バッハ:フーガト短調 BWV578、C.フランク:前奏曲など、さまざまな時代のオルガン作品を演奏します。パルナソスホールオルガニスト・長田真実さんとの対談も。

1月25日 14:00～

一般2,000円、高校生以下1,000円(全席指定)

問 パルナソスホール 079-297-1141

募集中心

詳細は
パルナソスホール
ホームページで
ご確認ください



チェンバロ講座「1日体験」受講生

高橋千恵さんの指導で、15～18世紀のバロック音楽に欠かせない鍵盤楽器「チェンバロ」を体験します。鍵盤楽器の経験は問いません。小学生以上対象です。

2月14日 13:00～14:00

2,200円 定員5名程度

※1月21日(水)までに申込

姫路キャスパホール

姫路シネマクラブ

第173回例会「港に灯がともる」

阪神・淡路大震災の翌月に神戸で生まれた灯は、在日韓国人三世という出自と、親から聞かされる震災の記憶の板挟みになる。高校卒業から12年にわたる葛藤と模索の日々を経て、灯が希望を見出していく姿を描いた物語。

1月16日 ①10:30～★②13:30～★

③16:30～ ④19:00～

17日 ①10:30～★②13:30～★

★上映後に映画プロデューサー・安 成洋さんのトークを予定

入会金500円、会費(2カ月分)1,000円※会員制

問 姫路シネマクラブ事務局 090-1028-7052

キャスパワークショップシリーズ

介護×演劇

「老いと演劇のワークショップ」

超高齢社会の課題に「演劇」でアプローチ。演劇体験を通じて、認知症の人とのコミュニケーションを考えるワークショップです。劇作家・演出家・俳優・介護福祉士の菅原直樹さんが講師を務めます。

1月24日 13:00～16:30

1,000円 定員20名

※1月9日(金)までに申込

問 姫路キャスパホール

079-284-5806



たかはし音楽教室 ピアノ発表会

1月25日 12:00～16:00 無料

問 たかはし音楽教室 080-3856-1015

姫路キャスパホール

休館のお知らせ

経年劣化による空調設備不具合の改修に伴い、下記の期間は休館いたします。ホール利用受付業務、ならびにプレイガイド業務は通常どおり行います。

2月1日～5月31日※予定

問 姫路市文化国際課 079-221-2098

姫路キャスパホール 079-284-5806

市民ギャラリー

アートホール

第33回 姫路福福寄席

六代目笑福亭枝鶴、桂二乗、桂健枝郎の出演です。

1月17日 14:30～16:30

2,000円(当日2,500円)

問 枝鶴姫路事務所

090-7552-2839(丸尾)

展示室(観覧無料)

第18回 鷺城会美術展

旧制鷺城中学校・市立姫路高校卒業生による「鷺城会」の美術愛好者が絵画、書、写真、工芸等の作品を展示します。

1月7日 水～12日 日

10:00～17:00 ※初日は13:00～

第1・第2展示室

問 鷺城会美術部会

079-235-0769(池本)

第11回

三軌:Next Epoch in HIMEJI 2026

全国公募美術団体三軌会の西日本の同人が中心となり発足した「三軌:Next Epoch」が、「アートとSDGsを考える展覧会」をテーマに開催。絵画、彫刻、工芸、写真作品を展示します。

1月14日 水～18日 日 10:00～17:00

第1～第4展示室

問 三軌:Next Epoch 090-6909-2661(横田)

あいめっせホール

第18回 日本語スピーチコンテスト

姫路市に在住・在学・在勤日本語が母語ではない外国人が、日々の生活のなかで感じたことや伝えたい気持ちを日本語で発表します。

2月8日 13:00～16:00

無料 定員先着280名

問 姫路市文化国際交流財団 国際交流担当

078-282-8950

令和7年度 国際理解講演会

「世界とつながる姫路城

～新しい姉妹城ヴァヴェル城・

シェンブルン宮殿・ブラハ城の魅力～」

世界遺産アカデミー主任研究員の宮澤 光さんによる講演です。

3月8日 14:00～15:30

無料 定員280名

※2月6日(金)までに申込(必着)

問 国際交流センター 079-287-0820

そのほか

HINOE Flute Trio Concert

姫路市出身のフルート奏者、伊野加代子さん・久斗理恵さん・深江亮太さんによるアンサンブル「丙」のファーストコンサートです。J.カステレード：笛吹たちの休日、J.シュトラウス：喜歌劇『こうもり』序曲、A.アルビーニ：小組曲第2番 他を演奏します。

1月11日⑤ 14:00～

南風会サロン(藤原歯科2階)

一般3,000円(当日3,500円)、

学生1,500円

問 FLUTE TRIO 丙



プラネタリウム震災特別投影

「星よりも、遠くへ」

各地の震災で犠牲になった方々の鎮魂と防災意識の継承のために、仙台市天文台プラネタリウム制作の東日本大震災メモリアル番組を投影します。

1月17日⑤ 16:00～

姫路科学館 プラネタリウム 無料

問 姫路科学館 079-267-3001

朗読会「古典を読む」

人生観や世相、自然の美しさなどを、皮肉やユーモアをまじえて綴った吉田兼好「徒然草」を朗読します。

1月24日⑤ 13:30～15:00

市立城内図書館 2階中会議室 無料

問 サークルさえずり

079-289-4887(木曜のみ)

書写の里・美術工芸館

079-267-0301 月曜休館

一般500円、高・大生300円、小・中生70円

清水公照の世界

奈良東大寺最高位の別当を務めた清水公照師の書や墨画、陶芸作品を紹介します。

3月31日⑤まで 10:00～17:00

郷土玩具室コーナー展示

「全国めでたいものづくり」

一天神さんからお獅子まで」



赤天神
(兵庫県 稲畑)

天神や七福神、招き猫や祝い鯛など、受験や人生の節目を応援したり祝ったりするおめでたい郷土玩具約50点を展示します。

3月31日⑤まで 10:00～17:00

新春特別展

「根付<NETSUKE> 一手のひらの宇宙」



「一騎当千」
及川空観作

江戸時代に作られた、煙草入れや印籠などを帯に引っ掛けるための小さな彫刻物「根付」。京都清宗根付館の所蔵品から、芸術性の高い現代根付約250点を展示します。

1月6日⑤～3月31日⑤ 10:00～17:00

姫路市立美術館

079-222-2288 月曜休館

オールひめじ・

アーツ&ライフ・プロジェクト オムニバス

令和3年度から取り組みを続けてきた同プロジェクトの総集編。第2弾は2021年度の招聘アーティスト・日比野克彦さんの作品を中心に展示します。

1月12日⑤まで 10:00～17:00 無料

たまはがねの響

音と光のインスタレーション

立花江津子さんのステインドグラスと明珍宗裕さん、宗敬さんによる玉鋼火箸のコラボレーションです。

3月22日⑤まで 10:00～17:00

姫路文学館

079-293-8228 月曜休館

企画展「戦後80年 戦時下の大衆文化

—『外地』へのまなざしを振り返る—

日中・太平洋戦争下には日本国内外で刊行された書籍や絵画作品、絵葉書、地図、宣伝ビラなどを素材に、〈作家と兵士が見た戦場〉〈従軍画家の描いた大陸前線〉などの4章で当時は振り返ります。

1月17日⑤～3月29日⑤

10:00～17:00

一般450円、高・大生300円、小・中生150円

第11回 藤原正彦エッセイコンクール表彰式

藤原正彦館長による講評・ミニ講演のほか、音訳ボランティアグループ「サークルさえずり」メンバーが中学生・高校生・一般の各部門最優秀作を朗読します。

1月18日⑤ 13:30～15:00

無料 定員先着100名

平和資料館

079-291-2525 月曜休館

秋季企画展「戦後80年 あの日の私たち」

入隊、従軍、銃後の暮らしについて館蔵資料やパネルで紹介し、あの日を振り返ります。

1月12日⑤まで 9:30～17:00 無料

収蔵品展

新たに寄贈された戦争当時の貴重な資料を中心に展示します。

1月17日⑤～4月12日⑤

9:30～17:00 無料

兵庫県立歴史博物館

079-288-9011 月曜休館

企画展「ひょうご温泉まちめぐり」

古来より多くの温泉に恵まれた兵庫。温泉をとりまく「まち」の歴史をまじえながら、それぞれの地域の特性を活かして育まれた豊かな温泉文化を紹介しします。

1月24日⑤～3月15日⑤

10:00～17:00

一般700円、大学生550円、高校生以下無料

■れきはく講演会「ひょうごを巡る旅の歴史

—西国三十三所巡礼へ、温泉へ—

兵庫県立兵庫津ミュージアム学芸員の曽根佑規さんによる講演です。

2月1日⑤ 14:00～15:30

無料 定員80名

※1月13日(火)までに申込

埋蔵文化財センター

079-252-3950 月曜休館

企画展

「TSUBOHORI 一発掘調査展2026—」

目覚ましい成果を上げてきた発掘調査の中から、2023年度を中心に、最新情報を選びすぐって紹介しします。

1月25日⑤～4月5日⑤

10:00～17:00 無料

■展示解説

1月25日⑤ ①10:30～ ②13:30～

無料 定員先着各20名

体験学習

「バレンタインにチョコレートで鏡を作ろう」

姫路市内で出土した古墳時代の鏡を原型にして、チョコレートで精巧なレプリカを作ります。

2月8日⑤ 10:30～12:00

1組2,000円 定員5組(1組4名まで)

※1月6日(火)～19日(月)までに申込(必着)

史跡見学会「勝原の古墳を巡る」

JRはりま勝原駅前に集合し、勝原区に所在する瓢塚古墳などを専門職員の説明を聞きながら巡ります。雨天中止。

2月15日⑤ 10:30～14:00

300円 定員30名

※1月14日(水)～26日(月)までに申込(必着)

スタッフのイチオシ!

PICK UP



お子さまのコンサートデビューに!
音楽のまち・ひめじ 子育てクラシック



中澤万紀子



小堀木優



長篠央子

お申し込みは
こちらから



誰も一度は聴いたことのあるディズニー屈指の名曲、映画『リトル・マーメイド』より「アンダー・ザ・シー」、聴くと運動会を思い出し走り出してしまう喜歌劇『天国と地獄』の序曲「カンカン」など、小さなお子さまと大人と一緒に楽しめるコンサートです。演奏は、姫路市出身で高嶋ちさ子プロデュース「12人のヴァイオリニスト」初期メンバーの中澤万紀子さんらによるヴァイオリン・チェロ・ピアノのピアノトリオです。オーケストラに比べて聴きやすい音量で、クラシックコンサートデビューの小さなお子さまにぴったり。演奏中は声を出しても、身体でリズムを取っても大丈夫! 途中入退場もOKです。終演後には楽器体験や写真撮影会も開催! ベビーカーをお預かりするほか、授乳室やおむつ替えスペースもあります。まだお腹の中にいる赤ちゃんも、お出かけデビューの小さなお子さまも、安心してご来場いただけます。お子さまとのいつものお出かけを、少し贅沢に過ごしてみませんか? (スタッフF)

2月19日(土) 11:00~(公演時間 約45分)

アクリエひめじ 大ホール 500円(全席指定) ※0歳から入場できます。

※友の会特典は対象外です。

問 姫路市文化国際交流財団 制作チーム 079-289-1108

2月14日(土) 10:30~

パルナソス 朝のハーモニー No.257

ヴァイオリン・ピアノ名曲コンサート

~ウィーン古典派の伝統に

敬意を表して~

出演/沖本みなみ(ヴァイオリン)

橋本由羽(ピアノ)

曲目/クライスラー:シンコペーション

ブラームス:ヴァイオリンソナタ 第2番

Op.100

ベートーヴェン:ヴァイオリンソナタ 第9番

Op.47「クロイツェル」

パルナソスホール

500円(全席指定) ※3歳から入場できます。

問 パルナソスホール 079-297-1141

3月15日(日) 14:00~

バロック in 姫路

声の魔力 バロックのうた物語

~恋に悩めるものたち~

出演/鈴木美登里(ソプラノ)

波多野睦美(メゾソプラノ)

佐藤亜紀子(テオルボ)

大塚直哉(チェンバロ、ポジティブオルガン)

ゲスト:前田紗希(ソプラノ)

藤田真帆(ソプラノ)

廣澤星花(メゾソプラノ)

曲目/H.パーセル:オペラ『ディドとエネアス』より

「わたしが地中に横たえられた時」

C.モンテヴェルディ:愛の手紙、

アリアンナの嘆き

G.F.ヘンデル:涙の流れるままに ほか

パルナソスホール

一般3,000円、高校生以下1,000円

(全席指定)

問 パルナソスホール 079-297-1141

3月22日(日)

人形浄瑠璃 文楽

アクリエひめじ 中ホール

【公演】14:00~

一般5,000円、高校生以下2,500円

(全席指定)

【鑑賞教室】11:30~

一般1,000円、高校生以下500円

(全席指定)

問 姫路キャスパホール 079-284-5806

※詳細は特集ページに掲載しています。

Coming Soon

今月発売開始

オルガンシリーズ Vol.23

長田真実オルガンリサイタル

~北ドイツ楽派の巨匠たちとバッハ~

J.S.バッハの作品や、バッハに多大な影響を与えた北ドイツ・オルガン楽派の巨匠ブクステフーデの作品など、北ドイツからバロックにかけての名曲を集めたソロ・リサイタルです。ホールオルガニスト・長田真実による、オルガンの真髄に迫る演奏をお楽しみください。

出演/長田真実(オルガン)

曲目/D.ブクステフーデ:トッカータ ニ短調

BuxWV155

V.リュベック:前奏曲 ホ長調

J.S.バッハ:パッサカリヤとフーガ

ハ短調 BWV582 ほか



長田真実

4月19日(日) 14:00~

パルナソスホール

一般 2,000円、高校生以下1,000円

(全席指定)

一般発売日 1月23日(金)

財団友の会 1月21日(水)

問 パルナソスホール 079-297-1141

チケットのお求めはこちらから▶



◎特に記載のない催しは未就学児入場不可

◎内容が変更となる場合がございます

文化情報 姫路

1月号 Vol.466 発行 姫路市

編集 姫路市文化国際交流財団

〒670-0836 姫路市神屋町143番地2

TEL.079-289-1108 FAX.079-289-8181

(平日10:00~17:00)

情報をお寄せください「文化情報 姫路」は姫路市内で開催されるコンサート、舞台、展覧会などの情報を中心に掲載しています。催しのタイトル・日時・料金・問合せ先を、開催月から2カ月前の15日(3月開催なら1月15日)までに、お気軽にお寄せください。



最新情報は
姫路市文化国際交流財団の
ホームページで!



姫路市文化国際交流財団 友の会
会員募集中

年会費1,000円 会員期間1年間

